

Social Activity Report

Wellness

Otaru Chikko

Town

No.4



Creating Shared Value 経営の実践

市民や地域社会と共有できる価値の創造



ウエルネスタウン

小樽築港ウエルネスタウン構想
活動レポート 2026年1月

法人紹介

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部

北海道済生会

住所 〒047-0008
北海道小樽市築港10-1
電話 0134-21-2757



株式会社小樽ベイシティ開発

住所 〒047-0008
北海道小樽市築港11-5
電話 0134-21-5555



■事業概要

開業 恩賜財団 済生会1911年5月
北海道支部1924年7月

- ・小樽病院 378床(みどりの里120床)
済生会訪問看護ステーション併設
- ・重症心身障がい児(者)施設 **みどりの里**
- ・小樽老人保健施設 **はまなす**
- ・済生会ビレッジ
地域ケアセンター
小樽市南部地域包括支援センター
小樽市基幹相談支援センター
居宅介護支援事業所はまなす
相談支援事業所併設
ウエルネスリハビリサービスライヴリー
福祉センター
発達支援事業所きっずてらす
きっずてらすDuO
きっずてらすDive
就労支援B型事業所ぶりもぱっそ
小樽市地域共生コーディネーター

■北海道済生会の特徴

- ・全国最大の社会福祉法人グループ
- ・急性期～回復期までの一体的な医療提供
- ・医療・福祉・介護のトータルケアサービス
- ・社会保障制度で対応困難な課題解決事業

■事業概要

開業 1999年3月

・ウイングベイ小樽

敷地面積 81,500㎡
延床面積 340,000㎡
物販面積 98,000㎡
総店舗面積 135,000㎡

■ウイングベイ小樽の特徴

～国内でも類を見ない特徴～

- ・国内有数の面積規模
- ・海が望めるロケーション
- ・大型駐車場（約5,000台）
- ・JR小樽築港駅直結（快速エアポート停車）
- ・施設内の70%が全国チェーン大手のテナントが入居（イオン、ニトリ、ビバホーム）

小樽市について



社会構造の変化に対応したまちづくりが求められている

概要

小樽市は、北海道西海岸のほぼ中央、後志地方の東側に位置し、札幌市など4市町村に接しています。

東西約36キロメートル、南北約20キロメートルで、市街地の一方が日本海に面し、他の三方を山々に囲まれた坂の多いまちです。

海岸線は69キロメートルで、その中央には天然の良港である小樽港があり、西側の勇壮な海岸は「ニセコ積丹小樽海岸国定公園」に指定されています。

気候は北海道にあって寒暖の差が小さい海洋性であり、春は桜と新緑、名夏はゴルフやマリンスポーツ、秋は紅葉、冬はスキーと、四季を通じて豊かな自然を満喫できます。

地域課題

小樽市は深刻な人口減少に直面しており、1964年のおよそ20万7,100人から2022年6月には11万人を割り込み、約60年でほぼ半減しました。

2050年までに子供を産む中心世代である20歳から39歳までの女性が半数以下になる「消滅可能性都市」の一つともされています。この人口減少は、特に若年層が札幌市などの近郊投都市へ流出していることが大きな要因です。

北海道新幹線が札幌駅まで延伸すると見込まれる2040年頃には、小樽市の人口は約72,000人にまで減少し、老年人口が生産年連人口を上回ると予測されています。

小樽石垣モデル

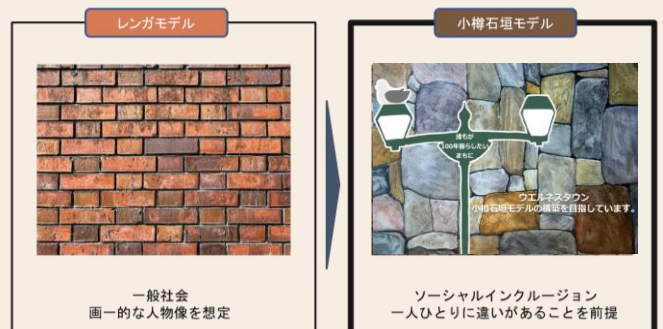
障害者や高齢者、引きこもりなどの人には、コミュニケーションを図るのは難しくても、専門に特化した仕事で力を発揮し、社会で活躍できる人がいます。

一人ひとりの違いを認め、「石垣」のように多様な形、多様な生き方や環境で活躍できる社会が必要です。

ウェルネスタウン構想では、こうした社会を「小樽石垣モデル」として全国に発信しています。

今では、全国の自治体や医療・福祉業界にとどまらず、様々な分野の関係者が視察に来られています。

誰もが活躍できる社会づくり



北海道済生会創立100周年



創立100周年記念式典

2024年8月22日、北海道済生会創立100周年記念式典をグランドパーク小樽で開催しました。小樽市内はもとより、全国から多くの関係者にご出席いただき、事業活動の節目を祝うとともに、次の100年も地域に根差した社会福祉法人として、ソーシャルインクルージョンの実現に向けて邁進することを誓っています。

塚本泰司会長は式辞で「多様な各自の専門性をつなぎ合わせ、100年後も地域に必要とされる存在でありたい」と宣言。ご来賓の祝辞では、ウエルネスタウン構築という先駆的取り組みへの期待が示されました。

式中では、櫛引久丸常務理事から「北海道済生会100年の歴史と未来への歩み」と題して、これまでの沿革を具体的に紹介し今後の展望についても述べて頂きました。

近藤真章支部長は謝辞で「ソーシャルインクルージョンの新たな立場で将来をつないでいきたい」「地域住民とのつながりを大事にして、次の100年を目指してまいります」と決意を示しました。

引き続き開かれた祝賀会では、小樽病院の和田卓郎病院長が「100年間守り続けてきたものは、断らない医療、患者と地域に寄り添う医療の構築。それを発展させ、進化させたものが現在のわれわれ済生会小樽病院の理念」と強調しました。

創立記念にあたり、記念誌「百年の軌跡」を発行。制作は就労支援事業所ぶりもぱっそが担当しました。



小樽ウェルネスタウン構想

「ウェルネスタウン」構想の3つの取り組み

①**身体的・精神的に健康で豊かな生活の提案**

病気になる
病気の早期発見と悪化予防
ポジティブな感情

②**環境的に健康で豊かな生活の提案**

生活利便性向上
快適な就業・活動環境
自然との調和

③**社会的に健康で豊かな生活の提案**

社会的なつながり
活力のある地域
安心・安全な地域

3つの観点から**健康で豊かな生活 (=ウェルネス)** を定義

北海道済生会との協働取組により、ウイングベイ小樽を
拠点とした「**ウェルネスタウン**」を構築する

「ウェルネスタウンの定義」

ウェルネスタウン構想 3つの取り組み

【ウェルネスの定義】

ウェルネスタウンを実現するにあたり、私たちが目指す「ウェルネス」の定義づけを行いました。



②環境的に健康で豊かな生活の提案

生活環境で最も重要な要素は、健康的な生活を継続できる環境を整えることにあります。

健康が保障された環境は、人々の生活の質を高め、経済的な生産性にも好影響を与えます。地域の自然環境やグリーンインフラもまた、直接的、間接的に健康を増進します。

- 生活利便性の向上
- 快適な就業・活動環境
- 自然との調和

生活環境や職場環境を健康的かつ持続的に保ち、自然環境との調和を追求します。

①身体的・精神的に健康で豊かな生活の提案

身体的・精神的に満たされた状態については、近年「健康寿命」という言葉をよく聞くようになりました。健康寿命とは、心身ともに自立し、健康的に生活できる期間のことです。この健康寿命を高めたり、健康を維持するためには、個人の生活習慣の改善や、うれしい、面白い、楽しい、感動したなどの前向きでプラスの感情を持つことが必要です。

- 病気になる
- 病気の早期発見と悪化防止
- ポジティブな感情

医療・介護・福祉の充実は勿論のこと、病気の予防や生きがいのある生活を提案します。

③社会的に健康で豊かな生活の提案

他人や社会と良好な関係を築き、社会参加を通じて自分の役割を果たし、生きがいを感じられる社会は、私たちの幸福感や心理的な充足に強く影響を与えます。

- 地域コミュニティに受け入れられる
- 自分の功績が評価され社会に影響を与えている
- 地域社会が安心・安全であると実感できる

多様な人々が、それぞれの違いを認め合い、互いに補完し合う石垣構造のような社会、地域づくり「小樽石垣モデル」を目指します。

1. まちづくり活動の評価



ふるさと企業大賞（総務大臣表彰）受賞

2024年12月

受賞式

小樽市（迫俊哉市長）の推薦を受け、一般社団法人地域総合整備財団（ふるさと財団）が表彰する2024（令和6年度）ふるさと企業大賞を受賞しました。

この賞は、ふるさと融資を活用し事業を積極的に展開。地域の雇用を促進し経済を発展させるなど、地域の振興に多大な貢献をした企業が表彰されます。

当会では、医療や福祉の分野で行政と連携し、隣接する商業施設ウイングベイ小樽に済生会が運営するリハビリ施設や相談支援センター、発達支援事業所、就労支援事業所からなる済生会ビレッジを開設し、住民がその地域で元気よく暮らし続けられるウェルネスタウンづくりに貢献したことが評価されました。

2025年2月

みどりの里が「済生会令和賞」受賞

患者・利用者へのサービス向上や地域貢献などの取り組みを顕彰する「済生会令和賞」にみどりの里が選ばれ、炭谷理事長から表彰状と記念の盾を拝受いたしました。

みどりの里では、入所者・ご家族職員で構成する共創型のインクルーシブ劇団「劇団みどり」の活動を行っておりますが、近年、約7,500人が集まる共生イベントでも披露し、市民に感動を与えました。

地域において、社会参加が進まない障害児(者)への活動支援が、重度心身障がい者支援施設の先駆的活動として全国的にも評価され、済生会の知名度を向上させることができました。



2. 「身体的・精神的」に健康で豊かな生活の提案

済生会ビレッジの地域課題解決事業

2025(令和7) 52,000人がサービスを利用

社会保障制度 枠内の事業	社会保障制度 枠外の事業
既存サービスをベースとした 進化系サービス	行政や既存サービスでは対応できない イノベーションサービス
 <p>地域ケアセンター 生活中心に 事業所ごとアウトリーチ</p>	 <p>ウエルネスチャレンジ 生活習慣改善プログラム ウォーキング</p>
 <p>発達支援事業所 きつずてらす・Duo/Dive デジタルとアート 企業連携・生涯支援</p>	 <p>済生会スクエア 新たな子供の居場所 共生型スポーツ・就労</p>
 <p>ウエルネスリハビリ ライブリー 買物リハビリ 脳運動機能活性化理論</p>	 <p>フードバンク 物資支援の中核 自販機型フードバンク</p>
 <p>就労支援事業所 ぶりもぼっそ 社会貢献型ショップ 一般就労移行事業</p>	 <p>地域共創 社会課題の解決 まちづくり</p>

地域に密着した医療活動

2024年5月

医療ツーリズム事業開始

今注目のMRIを使用した全身がん検査「DWIBS」を開始し、市民の受診のほか、メディカルツーリズムにも取り組んでいます。

「DWIBS」検査は、食事制限が無いなど身体への負担が少なく、検査時間も40分程度で広い範囲の検査ができます。

医療ツーリズムでは、済生会小樽病院で検査後、小樽・北後志の観光と食を楽しむツアーを展開しています。このツアーは大変好評で、年間約80名の外国人旅行者が利用を予定しています。

今注目の全身がん検査

DWIBS

ドゥイブス

特徴

- ・MRIを使用した検査
- ・食事制限の必要がない
- ・検査時間が短い(約40分)



2025年5月

地域共生健康セミナー

健康づくりに役立つ知識を地域に広めるため、済生会小樽病院の医師が健康づくりに役立つテーマで、各疾患の発症原因や症状、最近の治療法まで詳しく解説しています。

- テーマ 「意外と多い鼠径部ヘルニア」
「最近の認知症の診断や治療について」
「緩和ケアについて考えてみよう」
「過活動膀胱のお話」
「腰痛・足のしびれ～長く歩いていますか?」
「膝痛治療の新常識」
「大腸カメラのススメ」

2. 「身体的・精神的」に健康で豊かな生活の提案



病診連携と介護予防活動の推進

2025年9月

在宅・緩和ケア専門診療所と連携

在宅医療を専門に手掛ける「かもめ訪問診療所」がウイングベイ小樽に開設しました。

子高齢化が進むなか、高齢者の割合が増加し、訪問診療の必要性が高まっています。さらに、内閣府の「高齢者の健康に関する意識調査」によると、高齢者の54.6%が自宅で最期を迎えたいと考えており、訪問診療の需要は今後も増加する見込みです。

院長の今井貴史先生は、その人らしい人生を、最後まで支え続ける」を診療所の理念に掲げ、他の医療機関や訪問看護ステーション、在宅支援事業所の方々と連携して24時間365日の体制で、患者さんをご家族を支えたいとしています。



2024年5月

介護予防教室「ひだまり」開催

市民50名が参加し、済生会小樽病院リハビリスタッフのサポートで介護予防教室を開催しました。

当日はフレイル予防についての講話の後に、ストレッチ方法を体験して頂きました。椅子を使ってのストレッチは自宅でも気軽に行うことができますので、毎日続けることで効果が得られやすくなります。

プログラムの最後は、ウイングベイウォーキング体験でした。本コースは、天候の良し悪しに影響を受けずに有酸素運動を楽しめます。心地よいと感じた速さで歩けば、気分転換となり、ストレス解消になることも感じて頂きました。



2. 「身体的・精神的」に健康で豊かな生活の提案



地域活動支援

NPO法人 ほほえみ小樽音楽療法研究会

本団体は、音楽の持つ力を利用して、心身機能の維持改善を図り、社会復帰の援助や生活の質の向上を目音楽療法を取り入れた活動を行っています。

済生会ビレッジでは月二回「ちょびっと介護予防!!」～ほほえみ～を開催していますが、毎回約50名の市民が参加し回を重ねるごとにその数は増加しています。

商業施設内で買い物帰りに気軽に立ち寄れること、主催者のユーモアのある進行で、楽しく声を出しながら運動できるプログラムは、心身ともにリフレッシュできると大変好評です。

hohoemi 令和7年1月より13:00~になります。参加無料!自由に参加できます 参加無料!

ちょびっと介護予防!! ～ほほえみ～

毎月 第1・第3火曜日 13時00分～
済生会ビレッジ (ウイングベイ小樽5番街1階)

令和8年開催予定

1月	6日、20日
2月	3日、17日
3月	3日、17日
4月	7日、21日
5月	19日
6月	2日、16日



新光地区で活動する「新光コスモス会」

2024年9月

出張による町内会活動支援

当会では、市民の健康増進活動の一つとして、各地域に向向いて地域活動を支援しています。

最近ではモルックで健康増進活動を行い、町民同士をつなげ交流人口を増すこと、楽しく地域を盛り上げたいとの依頼が増えています。体験会後はサークル活動して発展し、ウイングベイ小樽のスポーツスクエアで開催するモルック大会に出場するケースも見られています。

このような活動が地域のつながりを再び強めるきっかけにもなっています。

2. 「身体的・精神的」に健康で豊かな生活の提案

ウォーキングコース内のチェックポイント

チェックポイント

- A コース 折り返し地点 (2 番街 4 階) でスタンプ: **2 ポイント**
- B コース 折り返し地点 (1 番街 2 階) でスタンプ: **2 ポイント**
- C コース 折り返し地点 (5 番街 1 階) でスタンプ: **1 ポイント**



運動習慣化促進活動

2025年4月 ウイングベイウォーキングを充実

市民の健康づくりを後押しすることを目的に、ウイングベイ小樽内にウォーキングコースを設置しています。本コースの特徴はご自身の体力に合わせてウォーキングを楽しめるよう、済生会小樽病院の理学療法士が監修し、A B Cの3コースを設定、コース内には効果的なウォーキング方法も掲示しています。

また、Lineアプリ等を活用したポイントシステムを充実させ、本コースの活用やイベント参加によりポイントをためることができ、ポイントは景品と交換できるようにしました。



ポイント付与の対象

- ・ウイングベイウォーキングコースの利用
- ・済生会が主催するイベント参加
- ・済生会事業に係るボランティア 等

2. 「身体的・精神的」に健康で豊かな生活の提案

日本人の2人に1人ががんになる時代

あなたの命を守るがん検診



～小樽市のがん検診を受けましょう～




体とどのう、子供よろこぶ、買い物ついで。
ウイングベイバーがこっそり教える

ウェルネス知恵袋

受けて、もらえる！健康ポイント！！ 小樽市のがん検診を受けて、ポイントが貯めると、景品がもらえます。

STEP 1

『ウェルネス知恵袋』LINE公式アカウントを友だち追加

STEP 2

がん検診を受ける

STEP 3

保健所で検診結果を提示

STEP 4

10～25ポイントの健康ポイントを付与

STEP 5

ポイントを特典に交換😊

25ポイントで ウイングベイ小樽館内店舗の各種特典

50ポイントで イオンシネマ映画鑑賞チケット

小樽市 × 北海道済生会 × ウイングベイ小樽

がん検診受診率向上に向けた取り組み

2025年4月

小樽市がん検診

小樽市は、がんによる死亡が全国・全道と比べて多い一方、がん検診の受診率が全国・全道と比べて極めて低い状況です。小樽市ではこの状況の改善を目指し、2024年度から小樽市健康増進・自殺対策計画をスタートさせ、令和10年度に小樽市民のがん検診受診率を肺がんで60%、胃がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がんで40%に向上させる目標値を設定しています。

市が実施するがん検診を受けた方に「健康ポイント」を付与する新たな事業が始まりました。この事業は、小樽市・北海道済生会・ウイングベイ小樽が連携した取り組みで、ウイングベイ小樽内に指定されたコースを歩くことでポイントが付与される「ウイングベイウォーキングの枠組み」に加えました。たまったポイントは、各種特典を受け取ることができます。

健康アプリ「ウェルネス知恵袋」

健康に憶病な小樽市民の味方「ウェルネス知恵袋」の健康取り組みのヒントとなるメッセージの発信やポイント制度を活用し、がん検診受診率向上のための行動変容アプローチを実施しています。

アプリキャラクターのウイングベイバーは、LINE公式アカウント『ウェルネス知恵袋』で様々な技を展開し、市民が健康になるための“め・ざ・め”にナビゲートします。登録者が増加中です。

2023年度小樽市がん検診受診率(%)

	男性	女性
胃がん	31.3%	22.7%
肺がん	47.1%	40.8%
大腸がん	31.7%	24.3%
子宮頸がん	-	27.8%
乳がん	-	25.2%

【出典】R3年度小樽市民アンケート

1 「ウェルネス知恵袋」のLINE公式アカウントを友だち追加する

体とどのう、子供よろこぶ、買い物ついで。
ウェルネス知恵袋



2 がん検診を受ける

市が実施するがん検診	対象年齢(受診年齢)	受診回数	獲得ポイント
胃がん検診(内視鏡)	50歳以上の偶数年齢	2年に1回	10 pt
胃がん検診(バリウム)	40歳以上	1年に1回	10 pt
肺がん検診	40歳以上	1年に1回	10 pt
大腸がん検診	40歳以上	1年に1回	10 pt
乳がん検診	40歳以上	2年に1回	10 pt
子宮頸がん検診	20歳以上	2年に1回	25 pt

※料金や予約方法は本誌16ページまたは市ホームページ(右の二次元コード参照)をご覧ください。
※検診結果は受診した医療機関が発行します。

3 検診結果を持って保健所に行き、ポイントを取得する

検診結果を確認でき次第、その場でポイントが付与します。

保健所健康増進課
ウイングベイ小樽1番街4階

※ポイントを付与するスマートフォンをお持ちください。
※受付時間は午前9時～午後5時20分です。

4 ポイントを使う

25ポイントで

ウイングベイ小樽館内店舗の各種特典

※対象店舗で「ウェルネス知恵袋」のクーポン画面を提示してください。

50ポイントで

イオンシネマ映画鑑賞チケット

※ウイングベイ小樽インフォメーションセンター(5番街1階)で申請が必要です。
※チケットは後日自宅へ郵送されます。

3. 「環境的」に健康で豊かな生活の提案



小樽市保健所や子ども家庭課などがウイングベ小樽に移転

2024年12月 官民共創によるウエルネスタウン構築へ

小樽市は、保健所と子ども家庭課を、ウエルネスタウンの中核施設ウインベ小樽に移転し業務をはじめました。ウイングベ小樽は、JR築港駅と連絡通路で繋がり、複数のバス路線の停留所となっているほか、立体や地下など十分な収容台数の駐車場を備えており、市民の利便性向上につながります。

2025年4月には、総合福祉センターと勤労女性センター、社会福祉協議会なども移転し、当会事業との連携も始まっています。

市民サービスの充実が図られ、ウエルネスタウン構築に向けた環境整備が一層加速しています。

2025年4月 小樽市基幹相談支援センター業務受託

小樽市から基幹相談支援センター業務を受託しました。当センターは、障害福祉分野において地域の相談支援の中核的な役割を担う相談機関で、多種多様な障害特性や生活ニーズに対応し、困りごとや“生きづらさ”を抱える障害者などがどのような相談もできる窓口です。

障害・福祉ニーズは年々多様化・増大化しており、様々な困りごとに対応するための自立支援・相談支援の強化に取り組む必要があります。

相談支援事業所や地域包括支援センター、さらには地域の病院や学校などと連携をとりながら、その地域に住む障がい者の方々のサポートを行なっていきます。

2025年7月 立地適正化計画「居住推奨エリア」に

小樽市では、人口減少に対応したコンパクトなまちづくりの指針となる「小樽市立地適正化計画」をまとめました。

小樽築港エリアは、小樽駅周辺等とともに、市民の移住・定住を将来にわたって促す居住推奨エリアの「都市型居住推奨区域」に指定され、医療・福祉・子育て支援・商業施設などの都市機能を、誘導し集約することにより、居住者等へこれらの各種サービスの効率的な提供を図る区域とされ定められました。

2025年4月 ウエルネスタウン構想連携担当主査配置 (小樽市福祉総務グループ)

小樽市では、ウエルネスタウン構想と連動した新規事業の開拓や連携事業の庁内調整役として担当主査を配置いたしました。

民間企業との連携・協働による事業展開を進め、より行政機能の価値を高めたことをめざすとしています。



3. 「環境的」に健康で豊かな生活の提案



発達支援事業所で描いた絵や文字をデザイン素材に

発達支援事業所きっずてらす

2023年8月 小樽フォント プロジェクト

きっずてらすに通う子供たちが描いた文字や絵を基本に、企業などのデザイン素材として使いやすくした「小樽フォント」が注目を集めています。

企業や法人が使用料を払って利用し、スマホケースやTシャツ、名刺のデザインとして販売しています。

子どもたちにとって、自分の作品が社会で使われる体験ができとても励みになっており、子どものやる気と力の醸成に繋がっています。



小樽市迫市長に活動報告



済生会職員手帳の表紙デザインに採用



ウイングベイ小樽の施設サインに採用

3. 「環境的」に健康で豊かな生活の提案



ソーシャルファーム（一般就労事業）事業

2024年9月ソーシャルファーム 「ワークスクエア」事業開始

ソーシャルファームを実現する活動を行う「ワークスクエア」をウイングベイ小樽2番街2階に新設しました。

ソーシャルファームとは、障がい者や引きこもりの若者など、就労困難者の雇用を目的とした社会的企業のことで、要支援者を一般雇用しながら、社会的使命と経済活動の両立を図る企業のことで、事業的に難易度が高いと言われています。

市民の相談に応じた受入れや、就労継続支援B型事業所ぶりもぱっそと連携して、利用者の一般就労移行に向けた作業も開拓し、馴染みのある職場で、安心して自立に向けた就労が可能なモデルを構築しています。また、発達支援事業所に通うお子さん等の成人期における就労課題にも対応いたします。

現在、ワークスクエアでは、印刷費事業を立ち上げ市民や企業からチラシや名刺、冊子の製本印刷を請けを行っているほか、地元企業と連携した「小樽水族缶」など、小樽の魅力発信と小樽の「推し活」につながるようなインクルーシブ商品の開発・製造・販売を行っております。



3. 「環境的」に健康で豊かな生活の提案



病院と就労支援事業所が連携し新たな就労支援モデルを形成

就労継続支援B型事業所 ぶりもぱっそ

2025年3月 環境改善で事業拡大

公益財団法人日本財団から支援を頂き、済生会小樽病院に併設するぶりもぱっそのクリーニング業務を拡大するための整備を行いました。

これまで外部に委託していた職員ユニフォームのクリーニング業務を法人内で行う「内製化」をし、一般就労の雇用機会の創出と工賃の引き上げを目指しています。

また、年中無休で稼働する病院事業に関連する業務を請け負うことで、利用者にとって高賃金で継続的に働ける環境づくりが進んでいます。



就労継続支援B型事業所 ぶりもぱっそ

2025年3月 病院で特設店舗開設

ぶりもぱっそでは、済生会小樽病院内に食料品等を販売する特設店舗を開設しました。

病院に通院する患者さんは高齢者が多く、荷物をもって歩くのが困難、免許返納で移動ができないなど、買物弱者と言われる方々も多く来院されます。

通院のついで、ご家族やヘルパーさんなどの付き添い者と一緒に買い物ができる環境を整えました。

特設販売所は大変好評のため、営業日を増やして運営しています。



3. 「環境的」に健康で豊かな生活の提案



農園でまちづくり 参加型農園から広がる住民の輪

2023年6月

クラウドファンディング報告①

2023年から小樽市塩谷・桃内地区や小樽築港地区にある済生会施設の敷地内計4か所に、住民参加型農園「済生会ファーム」を開設しました。

生産した作物を地域で販売することで、住民のやりがいや住民同士のコミュニケーションを創出したり、就労支援事業所による加工や販売で、インクルーシブな農園の運営にもつなげています。

農園の維持管理費用や、商業施設内で生産物を加工を行う整備費などを募るため、2023年6月にクラウドファンディングにも挑戦。約300人の方々から1,324万4,420円のご支援を頂きました。



塩谷地区にある老健はななすでは敷地内で農園の開墾・栽培作業を開始。慣れない作業に手こずりながらも職員が少しずつ開墾していきました。

農園の名称を募集し、空に向かって作物が元気に種から成長するようにとの思いと音階になぞられて「そらし〜ど」と名付けられました。

4つの農園ともに活動が活発化しています。スイカ・ブルーベリー・カボチャ・枝豆・キュウリ・ジャガイモなどに挑戦し収穫に成功しています。発達支援事業所きずつてらすの保育園留学を利用する全国から来た子供たちも採れたて野菜美味しそうに頬張り、食育体験満喫していました。



3. 「環境的」に健康で豊かな生活の提案



農園でまちづくり 参加型農園から広がる住民の輪

2023年8月

クラウドファンディング報告②

ウイングベイ小樽5番街1階済生会ビレッジに、「社会貢献型店舗 ぷりもShop」を開設しました。この店舗は、就労支援事業所ぷりもぱっそが運営し、障がい者の就労と自立に役立てられています。

済生会農園「そらしーど」で収穫した作物や他の支援プログラムで制作した作品、「PRIMO Cook Room」で製造したお菓子の販売も行っています。



済生会ビレッジに隣接する厨房を改修し、「PRIMO Cook Room」を開設しました。済生会ファームで収穫した作物を使い、オリジナルのお菓子、ジェラート、スープなどを製造しています。また料理教室や親子体験会、地域食堂にも活用されているほか、フードバンクの倉庫としても併用し地域活動の拠点となっています。



フランスのトップパティシエ グレゴリー氏によるお菓子作り教室



オリジナルサブレとジェラート



3. 「環境的」に健康で豊かな生活の提案



施設間往来の安全性向上と新たな機能

2025年12月

信号機及び横断歩道設置

ウェルネスタウン構想の推進により、増加している済生会小樽病院とウイングベイ小樽を往来する利用者の安全性と利便性を高めることが喫緊の課題となっていました。2020年小樽市議会に陳情した済生会小樽病院とウイングベイ小樽をつなぐ信号機付横断歩道が開通しました。

この間、みどりの里では入所者が交通安全週間活動に参加、斜め横断などの多い危険個所で交通安全意識の啓発活動も行ってきました。

中央分離帯の整備や視覚障害者誘導用ブロックの移設も行われ、施設間を往来する市民の安全環境が整えられました。



2025年12月

おやこの集いの場オープン

小樽市が市内で運営する4か所目の地域子育て支援センター「おやこの集いの場」がウイングベイ小樽にオープンしました。

集いの場は、「冬季も利用しやすいあそび場を」との市民の声を受け、市が商業施設内で初めて開設。未就学児と保護者が対象で土日祝日も開設します。

海、坂、山や歴史的な街並みなど、小樽らしい雰囲気醸成施設で、遊具などを配置した6つのコーナーでは子供の成長も感じ取れる内容になっています。



3. 「環境的」に健康で豊かな生活の提案



多様な人々の交流の場を設置

2024年9月

「済生会スクエア」開設

ウイングベイ小樽に、公益財団法人日本財団から支援を頂き、「済生会スクエア」を開設しました。

済生会スクエアは、「スポーツスクエア」と「ワークスクエア」「コミュニティスクエア」の三つのエリアで構成されています。スポーツスクエアには、モルックやポッチャといった誰もが楽しめるユニバーサルスポーツの会場を整備。ワークスクエアには、就労支援の場として多様な就労の形を支援しています。コミュニティスクエアは、学生から高齢者まで幅広い世代の交流の場となっています。また、救急カートを設置するなどし、医療必要度の高い障がい者も安心して利用することが可能です。



スポーツスクエア



ワークスクエア



コミュニティスクエア

3. 「環境的」に健康で豊かな生活の提案



小樽のすこやかな暮らしと未来づくりイベント

2025年9月 小樽くらいしたい 共生フェス2025

ウイングベイ小樽で「小樽くらいしたい共生フェス2025」を開催しました。地元の住民をはじめに内外から約7,500人が参加しました。

このイベントは、年齢や性別、国籍、障がいの有無などを問わずに誰もが暮らしたいまちづくりについて考えることを目的に開催しています。

全国の企業や学生も参加し、小樽の未来につながるアイデアの発表もあり、「暮らしたい小樽」へのネットワーク形成にもつながっています。



小樽市長の音頭で来場者とともに健康飲料で乾杯タイム



みどりの里入所者からウエルカムドリンクサービス



全国のワカモノによる未来共創ドラフト会議

4. 「社会的」に健康で豊かな生活の提案



地元企業とのコラボレーションでインクルージョン商品を販売

2025年4月 新たなお土産品 「おたる水族缶」開発

地元企業の小樽水族館と北海製罐に呼びかけ、地域活性とインクルージョンを目的とした、新たなお土産品を開発しました。

これは水族館の獣医が粘土で原型を作成し、済生会でデータ化、3Dプリンターでフィギュアとして出力し北海製罐の缶に入れた商品で、「おたる水族缶」と名付けられました。

商品の製造作業は、就労継続支援事業所の利用者が担当し、売り上げ収益は障がい者や水族館の生き物などの福祉に還元されます。



「北海道お土産グランプリ North Wave Selection2025-2026」
で金賞を受賞

4. 「社会的」に健康で豊かな生活の提案



フリースクールを実証開設

2025年5月 フリースクール開設

近年、さまざまな理由で学校へかよえなくなる子供たちが増えています。学校へ通えなくなり、日中の居場所や学習機会が失われている子供たちをサポートするのがフリースクールです。

こどもの不登校は1990年から増え始め、現在では全国で小学生・中学生を合わせて24万人以上の子どもたちが学校に通えなくなっているという調査結果（文部科学省「不登校に関する基礎調査」）が出ています。また小樽市教育委員会によると、心理的な要因などで年間に30日以上欠席した市内の不登校の奨学生は、2017年度以降100人台で推移し、2023年度には258人

台に達しています。

こうした状況を受け、当会では、入会金や授業料を無料とし、ウイングベイ小樽の「済生会スクエア」に試行的にスクールを開設しました。

スタッフには、元高校教諭で引きこもり学生への教育の経験もある職員を採用、社会福祉士やインクルージョン推進スタッフがチームで支援しています。

授業内容は、子どもの希望や理解度にあわせて検討し、病院見学や調理体験も行っています。

来年度には、本格的に稼働し、施設整備も行う予定です。



4. 「社会的」に健康で豊かな生活の提案



地域共生社会に向けた Well be ワーキングに関する調査
隙間時間を使ったお仕事に関する考えを教えてください

北海道済生会では「商業施設×地域共創型」子ども育て・地域共生サポート事業を推進し、小樽を誰もが暮らしたいと思える街にしたいと考えております。本事業をご理解いただきアンケートへのご協力をお願いいたします。

◆設問例◆
Q.ウイングベイ小樽において平日の日中にちょっとした隙間時間を使ってできる仕事があった場合、やってみてはいかがでしょうか？
Q.ウイングベイ小樽において、平日に「クッキーづくり、サブレづくりのお手伝い」のお仕事があった場合、やりたいと思いますか？
【内容】 ふりもくツクルームにて実施しているクッキーやサブレづくりのお手伝い。生地をこねる、材料の計量、形成や型抜き、焼き、封詰め、圧着・シール貼りなど
【時間】 平日の日中 30分、1時間、2時間、3時間、4時間から選択
【時給】 1,075円（予定）
【交通費】 1日あたり500円支給（予定）
事業主体：北海道済生会
調査実施事業者：株式会社総合研究所
お問合せ先 health@htri.co.jp

アンケートはこちらから

競輪の補助事業 このチラシは、競輪の補助により作成しました。
<https://jka-cycle.jp>

商業施設を活用した子どもの居場所づくり× 子育て期の就労等サポート機能強化による実証研究

2024年6月 モルックの地域定着

2024年度開設した済生会スクエア（スポーツスクエア・ワークスエア）での指導者育成と利用促進を目的に体験会などを実施しました。

その結果、体験会に参加した高齢者がその後開催したイベント等にボランティアや講師として参加したり、大学生がチームを結成し独自に大会を企画・運営するなどの動きがみられました。

またモルックを体験した高齢者がほかの高齢者と一緒にモルック場を訪れ、やり方を教えるなど、イベントなどに頼らない自発的な動きも出ていることから、地域住民型の活動として発展していることがうかがえます。

2024年12月 デジタル系ものづくり

2023年から実施してきたデジタル系ものづくり講座をデジタル合成、動画編集、3Dプリンタ活用など段階的に行ってきました。

講座のすべてに参加した参加者もあり、講座に対する評価も高かったことから、学んだ内容を発展させていくようなプログラム構成が利用促進につながったものと考えています。

また、各講座とも子どもから大人まで参加できるようにしたことで、子どもが大人に教えるといった場面や参加者同士が教え合うような場面が多く見られ、講座そのものが指導者育成の役割も担っています。

2024年12月 託児所付きワーキングスペースの可能性

子育て期の女性等を対象としたアンケート調査から、託児所付きワーキングスペースに対する利用意向や隙間時間を活用してちょっとした仕事ができる仕組みに対する関心が高いことがわかりました。託児のニーズと短時間での就労ニーズが同時存在しており、託児付きワーキングスペースがこれらのニーズに応えられる可能性が考えられます。

一方、ウイングベイ小樽内のテナントへのアンケート調査によるヘルプスタッフにお願いしたい業務内容を見ると、専門的スキルを必要としない業務が中心であり、短時間でも取り組みやすい内容でした。



4. 「社会的」に健康で豊かな生活の提案



地域外活動

重症心身障害児（者）施設みどりの里

2025年4月 デジリハ活用支援で インドに職員派遣

インドの特別支援学校でデジリハの導入が始まっていることから、現地の先生方を支援するため、株式会社デジリハに同行してデリー・ブネ・バンガローに小玉武志作業療法士を派遣しました。

デジリハは各種センサーを用いたアプリケーションを提供するサービスで、障害の有無にかかわらず子どもが楽しめるツールです。

インドの特別支援学校の先生方は「ツールを使いこなしたい」という熱気にあふれ、積極的に課題を共有してくれました。



2025年11月 全国済生会施設との連携

おたる水族館の生き物たちのフィギュアに色を塗って自分だけの缶詰づくりができる「おたる水族缶クラフト版」が、岩手県北上市や富山県高岡市、神奈川県横浜市、広島県呉市にある済生会病院のイベントブースに採用されました。

このクラフト版フィギュアの製作にあたっては、障がい者等が関わり、障がい者の社会進出や自立支援につながっています。

全国各地の済生会病院が連携して、病院のイベントを通じてソーシャルインクルージョンの根付いた社会の実現に取り組んでいます。

4. 「社会的」に健康で豊かな生活の提案



フードバンク・地域食堂事業

2024年5月

フードバンク用自動販売機設置

生活困窮者の食品アクセスの確保に向け取り組んでいる、フードバンク事業が着実に成果を上げています。

年中無休の商業施設ウイングベイ小樽の済生会ビレッジに「フードバンク用自販機」を設置しました。

市役所や地域包括支援センターで配布する専用コイン1枚で食品1個と交換できる仕組みで、市内の農家やイオン北海道小樽店などから提供があった米やインスタント食品などを取り扱っています。

また、フードバンク用以外の商品も現金で販売し、収益金を就労支援事業所の運営に充てています。



フードドライブ協力事業者様



北海道イオン小樽店のフードドライブコーナー

2025年7月

恕（思いやり）カフェ

小樽市社会福祉協議会と共催し、市民誰もが参加できる、多世代交流を目的としたカフェを開催しています。夏休みには最年少ボランティアも参加し、可愛い笑顔で運営メンバーとして活躍しています。

このカフェは、多世代コミュニティを形成し、地域活性化の役割を担っています。



4. 「社会的」に健康で豊かな生活の提案

介護の相談
はどこに相談
したいの？

子育て支援って
どんなのがあるの？

生活が苦しいので
経済的な支援を
受けたい

「そんな市民の疑問に“まるっと！”お答え！」

小樽支援
コンシェルジュ
AI チャットボット

まるっと

まずはこちらから
友だち登録
してね



公式LINEアカウントQRコード

PCの方

北海道済生会

小樽支援コンシェルジュ「まるっと！」とは

スマホや
パソコンから
小樽市の福祉サービス支援制度を
簡単に探せるアプリです。

- ☑ 国の制度から小樽市独自の支援まで、約400種類以上の情報を網羅！
- ☑ 地域で実施する福祉活動や相談窓口もすぐに見つかる！
- ☑ 高齢者、障がいのある方、子育て世代など、誰でも使いやすい設計！

子育て
の支援

高齢者
の支援

障がい
のある方

生活・お金
の支援

学び・仕事
の支援

地域での
つながり

Supported by THE NIPPON FOUNDATION

使い方は4ステップでかんたん

STEP 1



LINE公式アカウントから「まるっと」を開く
スマホは「まるっと」公式LINEアカウントからダウンロード。パソコンでは「北海道済生会」ホームページから開くください。

STEP 2



利用規約を読んでスタート
「利用規約を読んで」を押すと開始できます。

STEP 3



質問に答える or 聞きたいことを入力
質問の欄や検索欄にキーワードを入力して検索ボタンを押すと、検索結果が表示されます。自由入力でも検索可能！

STEP 4



あなたに合った制度を確認！
条件に合った支援制度や窓口、リンクが一覧で表示されます。別名・電話番号も先ず確認してチェックできます。

「まるっと！」ができること

国・北海道・小樽市の制度や地域情報をまとめて横断検索

制度の対象条件・窓口・リンク先まで自動で提示

テキストデータに書き出しができるのでパソコンなどで結果を印刷できます
(印刷は4枚まで)

よくある質問 (FAQ)

Q 個人情報の入力が必要ですか？

A 検索の履歴に沿って絞りこむだけで利用できます。個人を特定する情報の入力は不要です。個人情報入力を受けず、匿名入力することも可能です。

Q スマホだけでですか？

A スマホ/PCの両方に対応しています。

Q 料金はかかりますか？

A 無料でご利用いただけます。

Q 小樽市以外の制度も出ますか？

A 小樽市の情報を中心に、必要に応じて北海道の関連制度も表示します。また、小樽市における制度以外の支援情報も表示します。

最先端技術を活用した相談支援アプリの開発

小樽支援コンシェルジュ「まるっと」

福祉や介護、子育てなどの制度に関する相談について、困り事を入力すると人工知能（AI）が自動で応答する「チャットボット」を開発しました。市民や地域包括支援センターなどで相談支援に携わる専門職や市民がウェブ上で使うことができ、利用可能な制度や事業を知ることができます。

国の社会保障制度は生活保護や介護保険、障害者福祉など400以上の分野にわたるため、市民が必要な制度を把握するのはとても難しく、専門職でも経験の差などによって対応に時間がかかる場合があります。

また、80代の親とひきこもりの50代の子どもが孤立や生活困窮に陥る「8050問題」、育児と介護を担う

ダブルケアなど、市民が抱える課題は多様化、複雑化しています。

アプリには各種制度のほか、市の独自事業も取り込んでおり、市民は時間を問わず情報を入手でき、専門職は相談支援の効率化を図りながらよりの確に支援できるようになります。

このアプリ開発は、公益財団法人日本財団（東京）の助成金を活用しています。全国に先駆けた取り組みとしてご支援いただきました。

短文やキーワードを交えて会話形式で質問するか、知りたい項目を選択すると、制度の概要や各種サービス事業所の一覧、市の窓口やウェブサイトのリンクなどが示されます。

誤情報防止のため、必要な情報をAIが独自に構築したデータベースから入手する仕組みとなっています。

市民・相談専門職への説明会

26

4. 「社会的」に健康で豊かな生活の提案



多文化共生の推進

2024年9月 学校法人北斗文化学園との連携活動

北海道室蘭市に拠点を置き、福祉人材の育成や調理師育成、外国人人材の育成を主に事業する学校法人北斗文化学園と、医療・福祉に係る専門職の人材育成や地域共生社会の実現に向けた包括連携協定事業に取り組んでいます。

小樽くらしたい共生フェスでは、外国人留学生が民族舞踊を披露するなど、市民との交流を深めました。



2023年9月 みどりの里福祉観光動画

観光のまち小樽市の観光入込み客数は、年間約800万人となります。令和7年度の上期では8年ぶりに400万人を突破し、大阪・関西万博などにより、西日本エリアへの注目が高まる中でも、堅調に推移しています。

みどりの里では、だれもが気兼ねなく旅行に参加できるユニバーサルツーリズムの普及・促進を図るため、小樽の観光施設や旅行で利用する駅や商業施設の魅力とともに、車いす利用の情報を発信しています。

観光地におけるユニバーサルツーリズムを促進は、大きな集客が見込めるだけでなく、地域経済効果も期待できます。



おたる天狗山



小樽の玄関口JR3駅



おたる水族館



ウイングベイ小樽

4. 「社会的」に健康で豊かな生活の提案



防災・災害時対策

2025年7月防災ラボ2025開催

小樽市との「地域共生社会実現に向けた包括連携協定」に係る事業として、地域防災イベントを開催しました。

昨年より規模を拡大し、小樽市消防署、自衛隊、小樽警察署や民間の緊急・災害支援車両の展示や試乗、海上保安部や小樽開発建設部による災害対応に関するパネルや機材の展示、小樽消防署により災害救護のデモンストレーションなどが行われました。

本年で3回目のイベントですが、子ども達や市民に大好評のイベントに成長しています。

市民の防災リテラシーを高め、有事の際の安全避難を高める活動を継続していきます。

ウエルネスタウン構想では、ウイングベイ小樽の防災拠点化も目指しています。2018年に発生した胆振東部地震では、小樽市の要請を受け、8千平方メートルの観光客用避難所を設けました。

今後起こり得る大規模災害発生時には、被災者を收容し、併設するエネルギーセンターを稼働させた電力供給、全国済生会グループ等から派遣される医療チーム(DMAT)や介護チーム(DCAT)の待機・活動の場としても機能させることが可能です。

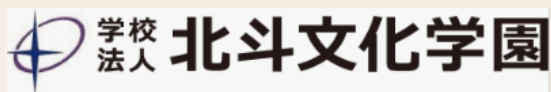


5. 報道等

(2023年11月1日～2025年12月31日までの期間)

- 2023年11月29日 日本総研フォーラムweb3で実装する！発達障害と拓くありたい未来 榎引久丸
- 2024年03月11日 地域共生マルシェで考える 市内外団体が「みらい祭り」
- 2024年03月12日 お年寄りって階段大変 塩谷小児童が疑似体験
- 2024年08月09日 「軽井沢ラジオ大学」サスティナブル社会やインクルーシブ社会の実現
- 2024年09月17日 HOKPITAL 地域とともに人口減少時代に立ち向かう！ 病院基点の北のまちづくり
- 2024年09月20日 慢性期.com 北海道済生会が行なう小樽ウエルネスタウン構想
- 2024年09月20日 北海道新聞 小樽から初 北海道済生会にふるさと企業大賞 福祉、医療で貢献
- 2024年10月04日 誰もが活躍「小樽モデル」を発信 北海道済生会常務理事 榎引久丸さん
- 2024年12月18日 小樽ジャーナル 北海道済生会 小樽初ふるさと企業大賞受賞
- 2024年12月23日 「小樽フォント」子どもの励みに 収益でアイスのご褒美
- 2024年12月24日 北海道新聞 小樽フォント子供の力に
- 2024年12月27日 北海道新聞 「中身は海の仲間～おたる水族缶～」発売
- 2025年01月07日 北海道新聞 ウイングベイ小樽運営OBCの内藤社長に聞く ウエルネスタウン実現に力
- 2025年01月07日 北海道新聞 ヘルニアを解説 済生会小樽病院が健康セミナー
- 2025年01月07日 北海道新聞 おたる水族缶を企画した 土谷浩大さん
- 2025年01月07日 北海道新聞 モルック屋内協議場が人気 ウイングベイ小樽に開設1年
- 2025年01月27日 読売新聞 「フィギュアで小樽水族缶」
- 2025年01月28日 HBCラジオ「アフタービート」おたる水族缶紹介
- 2025年02月05日 HBCテレビ「今日ドキッ！」おたる水族缶紹介
- 2025年02月05日 北海道新聞 ウイングベイ小樽に子育て支援センター 商業施設は初
- 2025年03月01日 病院マーケティング新時代 病院がショッピングモールで事業を展開～北海道済生会小樽病院の挑戦～
- 2025年12月02日 小樽ジャーナル 小樽で楽しく学ぶ防災の力 北海道済生会
- 2025年07月29日 北海道新聞 済生会小樽病院前に横断歩道設置へ 市道築港海岸通り線に
- 2025年07月29日 北海道新聞 「おたる水族缶」金賞受賞
- 2025年09月04日 北海道新聞 「共生」テーマに7日フェス ウイングベイ小樽で
- 2025年09月08日 北海道新聞 年齢や障害不問 共生社会理解を 認知症「体験」も
- 2025年09月10日 小樽ジャーナル 北後志地区郵便局長婦人の会 済生会フードバンクへ寄贈
- 2025年09月12日 北海道新聞 ウイングベイ 夏の集客好調
- 2025年09月12日 北海道新聞 Tシャツに小樽フォント モチベーション↑介護予防サポーター
- 2025年10月16日 北海道新聞 3Dプリンターの基本操作学ぼう 25日子ども向け講座
- 2025年11月05日 北海道新聞 3Dプリンター楽しい 小樽で講座 親子でおもちゃづくり
- 2025年11月20日 北海道新聞 済生会フリースクール開設半年 元教師が小中学生の教科指導「不安抱える子どもの応援団に」
- 2025年12月01日 北海道新聞 Xマスツリー 子どもたち独創的に飾る 小樽で点灯式
- 2025年12月02日 小樽ジャーナル ウイングベイ小樽でクリスマスツリー点灯式
- 2025年12月26日 北海道新聞 AIに相談 小樽の済生会がアプリ開発27日から運用開始

6. 支援団体・企業・個人の皆様



その他 企業・個人様 (匿名ご希望)

小樽石垣モデルの実現へ

～ “地域共生社会” を実行する ～

「社会的弱者を取り残すことなく、共に生きていく」

その理念を **ソーシャルインクルージョン** といいます。

小樽石垣モデルは北海道済生会ではこの理念をもとに、
性別・障害・貧困・国籍の有無など、1人ひとりの“ちがい”を“個性”と捉え、
社会全体で支え、共に生活していく

「地域共生社会」を目指す小樽の新しい街づくりのかたちです。

この取り組みの実現には、市民の皆様のご理解をはじめ、多くの方々のご理解とご協力が必要です。

是非、この活動にご賛同いただき、共に推進していただけますと幸いです。

社会福祉法人 恩賜財団済生会支部

北海道済生会

あなたのご支援で支えてください。



寄付の使いみち

社会参加支援

フリースクール・地域食堂など、
不登校児童や高齢者の社会参加を支援。

子育て・家庭支援

妊娠期から出産後まで、
地域で子育てを支え合う社会づくり。

自立支援

支援を必要とする方の
社会的・経済的自立を応援。

ご寄付方法

銀行振込

【寄付金振込口座】※銀行振込をご希望の方は、事前にご連絡ください。

北洋銀行 小樽中央支店 普通4298679
社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 北海道済生会
支部長 近藤真章

インターネット
寄付はこちら



税制上の優遇措置について

個人の場合

税額控除方式で寄付金から控除される金額(例)

年間1万円寄付した場合

所得税からの控除 $(1万円 - 2,000円) \times 0.4 = 3,200円$

年間5万円寄付した場合

所得税からの控除 $(5万円 - 2,000円) \times 0.4 = 19,200円$

※寄付を行なった翌年1月1日時点で、寄付金税額控除の控除対象寄付金として条例で指定している地方公共団体にお住まいの方は、確定申告書に本会発行の証明書を添付して所轄の税務署へ申告することで、都道府県・市区町村民税の控除を受けられる可能性があります。

企業・団体の場合

特定公益増進法人に対する寄付金の損金算入

(イ) 通常の寄付金の損金参入限度額

$(資本金額 \times 期月数 / 12 \times 2.5 / 1,000 + 所得の金額 \times 2.5 / 100) \times 1/4$

(ロ) 特定公益法人に対する寄付金の損金参入限度額

$(資本金額 \times 期月数 / 12 \times 3.75 / 1,000 + 所得の金額 \times 6.25 / 100) \times 1/2$

※特定公益増進法人に対する寄付金の損金参入 / 通常の寄付金の損金参入限度額(イ)とあわせて別枠で算出した、限度額(ロ)が損金に算入されます。

※損金参入限度額は、その法人の資本金や所得の金額によって異なります。詳しくはお近くの税務署、または税理士にご確認ください。

お問い合わせ

社会福祉法人 恩賜財団済生会支部
北海道済生会

TEL 0134-21-2757

〒047-0008 小樽市薬港10-1(済生会小樽病院内)



令和8年1月20日 第4版第1刷発行

発行 社会福祉法人^{恩賜} 済生会支部
財団 北海道 済生会
〒047-0008
北海道小樽市築港10番1号
TEL：0134-21-2757
URL:<https://Hokkaido-saiseikai.com>